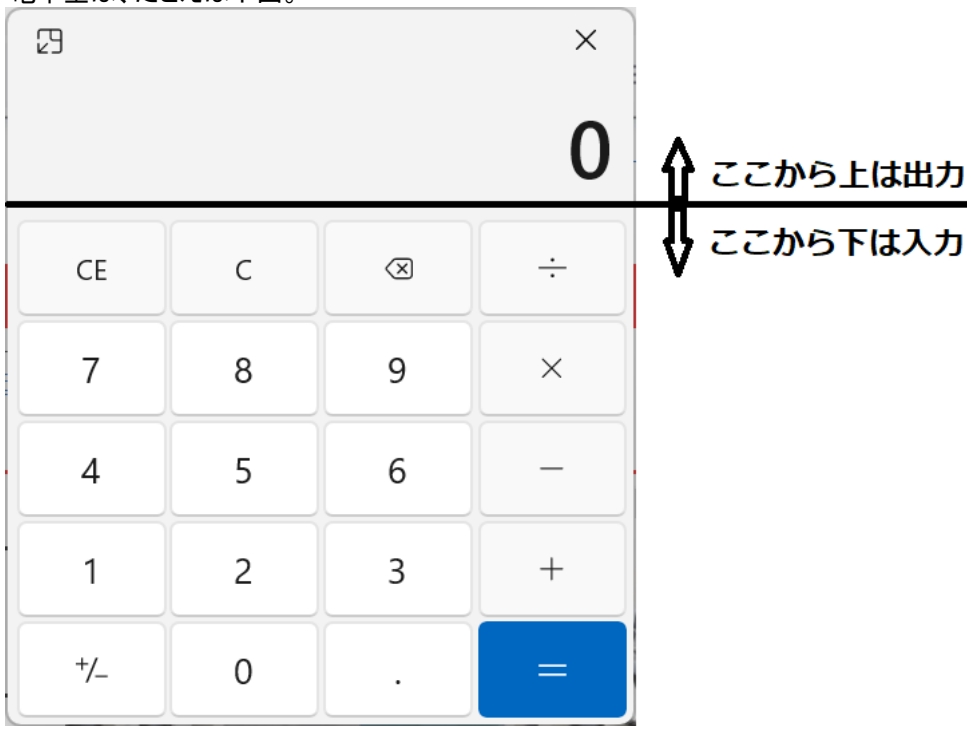
【参考にした文献】

No.	タイトル	ISBN	著者	電子版/紙	読書開始	読書終了
1	時間は逆戻りするのか　宇宙から量子まで、可能性のすべて	978-4-06-520210-4	高水　裕一	電子版	2022/08/30	2022/09/15
		量子コンピュータによって時間の逆転云々の記述があるが				
2	ゼロからわかる量子コンピュータ	978-4-06-528299-1	小林雅一	電子版	2022/08/09	2022/09/16
		量子コンピュータについて概括的				
3	マンガ＋図解でよくわかる 最速最短！ 量子論	978-4-651-20263-1	吉田伸夫	電子版	2022/12/19	2022/12/26
		「コンピュータ」の具体的な話は無い				
4	ゼロから学ぶ量子力学　普及版　量子世界への、はじめの一歩	978-4-06-527401-9	竹内　薫	電子版	2023/01/18	1899/12/30
		「コンピュータ」の話は無い				
5	量子コンピュータが本当にわかる！ ― 第一線開発者がやさしく明かすしくみと可能性	978-4-297-11135-9	武田俊太郎	電子版	2023/01/31	2023/02/15
		「量子アニーリング云々」を言うのは日本だけだそうです				
6	暗号と量子コンピュータ ―耐量子計算機暗号入門―	948-4-274-22410-2	高木　剛	電子版	2023/02/17	2023/03/04
		タイトル通り、暗号理論が中心				
7	文化としての数学	978-4-12-207113-1	遠山　啓	電子版	2023/02/16	2023/03/10
		吉本隆明による解説文に遠山氏が量子論の講義を行った旨あり				
8	数理科学　7月号（2019年7月1日発行） 特集　量子コンピュータの進展	雑誌　05469-07	サイエンス社	紙	2023/03/06	2023/04/08
		量子コンピュータでなく、連載記事「複素解析の幾何学」を読みたくて買った				
9	量子探索	978-4-7649-0630-3	今野紀雄	電子版	2023/03/18	2023/03/30
		コンピュータの話ではないらしい				
10	数学と人間	978-4-12-207284-8	遠山　啓	電子版	2023/03/26	2023/04/14
		「量子力学に理論的な武器を提供云々」とある。				
11	量子で読み解く生命・宇宙・時間	978-4-344-98645-9	吉田伸夫	電子版	2023/03/30	2023/04/21
		量子論の歴史認識が、平石と、かなり違う。				
12	量子測定と量子制御 第2版（SGCライブラリ）	978-4-7819-1547-0	沙川貴大／上田正仁	紙	2023/05/28	
13	りょうしりきがくｆｏｒ　ｂａｂｉｅｓ	978-4-7631-3766-1	クリス・フェリー/村山斉	紙	2023/06/08	2023/06/08
		「量子」という言葉の正確な意味を初めて知りました。				
14	決定版　量子論のすべてがわかる本	978-4-651-20038-5	科学雑学研究倶楽部	電子版	2023/06/10	2023/07/03
		「ニュートン、『プリンキピア』を発表」から書き起こす、本当に「すべて」。				
15	でたらめの科学　サイコロから量子コンピューターまで	978-4-02-295104-5	勝田　敏彦	電子版	2023/07/07	2023/07/20
		乱数表の話。量子コンピュータは「猫」の箱を沢山並べたものなのだそうです。				
16	人物で読み解く世界史365人	978-4-405-10811-0	佐藤優（監修）	電子版	2023/05/11	
		ボーアやフォンノイマンなど量子力学関係者もそれなりに取り上げられている。				
17	量子コンピュータの衝撃	978-4-299-00338-6	深田萌絵	電子版	2023/07/27	
		古典物理学の法則通りに電子が動いてくれるのが、古典コンピュータだと。				

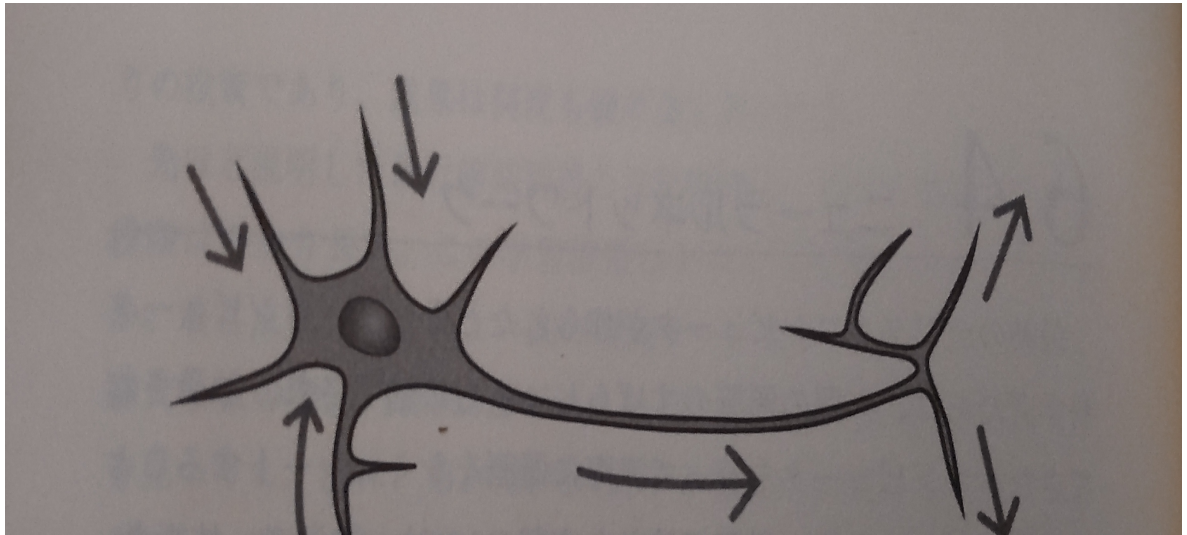
量子コンピュータに関する文献を読んで、もしかして、情報処理システムには「電卓型」と「そろばん型」があるのではなかろうかと思うようになった。

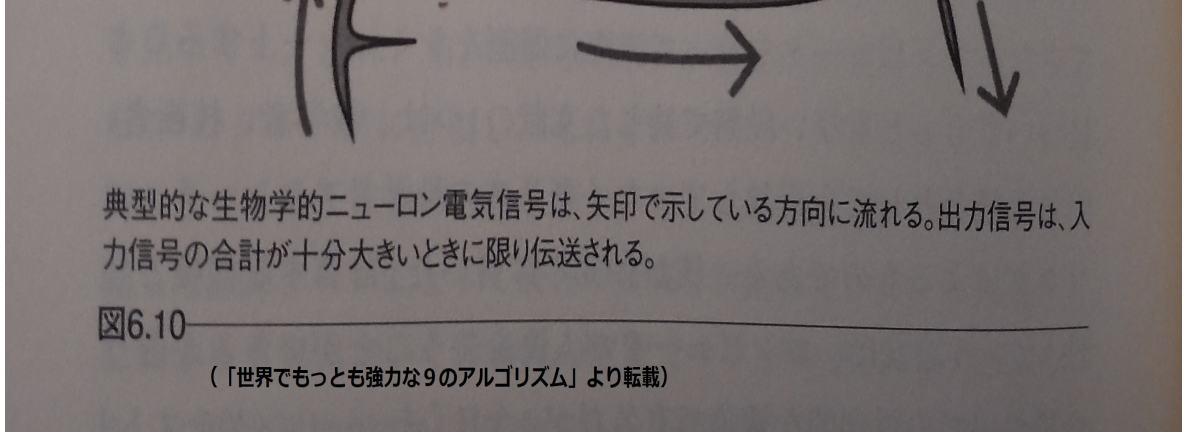
電卓型は、たとえば下図。



「ここから上は出力」、「ここから下は入力」で示したように、入力場所と出力場所とが、きっちりと別れている。

人間の脳の細胞（ニューロン）も、電卓型である。





典型的な生物学的ニューロン電気信号は、矢印で示している方向に流れる。出力信号は、入力信号の合計が十分大きいときに限り伝送される。

図6.10

（「世界でもっとも強力な9のアルゴリズム」より転載）

「そろばん型」は、適切な画像が無いが、要するに、入力と出力が分かれていない。